



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大久保 信隆

TEL 03-5323-0231

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	40,988	6.0	1,245	212.1	1,552		1,068	
2022年3月期第2四半期	38,677	20.5	399		107		13	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,259百万円 (200.1%) 2022年3月期第2四半期 2,086百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	18.05	
2022年3月期第2四半期	0.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	118,842	59,842	48.7
2022年3月期	104,865	54,466	50.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 57,836百万円 2022年3月期 52,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	0.6	3,000	0.7	2,900	12.3	2,100	24.6	35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	63,077,770 株	2022年3月期	63,060,164 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	3,865,553 株	2022年3月期	3,865,040 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	59,198,461 株	2022年3月期2Q	59,195,546 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、円安の進行による物価上昇など、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、ウクライナ情勢の長期化や、原材料費、エネルギー価格の高騰等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、世界全体での生産台数は回復傾向が見られるものの、半導体不足やサプライチェーンの混乱による自動車メーカーの生産減が続くなど、厳しい事業環境となりました。

当社グループは、厳しい事業環境の中、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売が増加し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は409億88百万円（前年同四半期比6.0%の増収）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加の影響に加え、生産効率化や為替変動影響等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は12億45百万円（前年同四半期比212.1%の増益）となりました。また、営業利益の増加などにより、経常利益は15億52百万円（前年同四半期は1億7百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億68百万円（前年同四半期は13百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

（日本）

国内の自動車販売台数が減少した影響を受けたものの、その他の売上が増加した影響などにより、売上高は230億12百万円（前年同四半期比0.2%の増収）となりました。

利益面では、主に生産工場の稼働率低下の影響により、セグメント利益は3億19百万円（前年同四半期比61.1%の減益）となりました。

（中国）

中国の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は90億68百万円（前年同四半期比24.4%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、生産効率化の影響等により、セグメント利益は7億82百万円（前年同四半期は1億29百万円のセグメント損失）となりました。

（東南アジア）

タイの自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は69億30百万円（前年同四半期比8.3%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、タイパーツが対米ドルで通貨安に推移したことや生産効率化の影響等により、セグメント利益は8億5百万円（前年同四半期は48百万円のセグメント利益）となりました。

（欧米）

欧州、米国共に、自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少し、売上高は19億76百万円（前年同四半期比1.7%の減収）となり、セグメント利益は87百万円（前年同四半期比0.9%の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.4%増加し、664億38百万円となりました。これは、主に現金及び預金が79億5百万円、商品及び製品が19億94百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、523億74百万円となりました。これは、主に有形固定資産が30億34百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.3%増加し、1,188億42百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.4%増加し、421億90百万円となりました。これは、主に短期借入金が91億81百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、168億9百万円となりました。これは、主に社債が3億21百万円減少し、長期借入金が2億86百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて17.1%増加し、589億99百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.9%増加し、598億42百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が48億40百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて79億5百万円増加し、237億85百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、9億59百万円(前年同四半期は28億9百万円の増加)となりました。これは、主に売上債権の減少額24億32百万円、減価償却費23億25百万円などによる資金の増加、仕入債務の減少額25億95百万円、棚卸資産の増加額20億61百万円による資金の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、25億98百万円(前年同四半期は32億68百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出25億16百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、81億96百万円(前年同四半期は28億円の減少)となりました。これは、主に短期借入れによる収入159億90百万円、長期借入れによる収入100億円による資金の増加、短期借入金の返済による支出162億12百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,879	23,785
受取手形及び売掛金	17,948	18,202
電子記録債権	4,427	3,507
商品及び製品	9,621	11,615
仕掛品	3,673	4,391
原材料及び貯蔵品	2,775	3,407
その他	1,337	1,573
貸倒引当金	△40	△45
流動資産合計	55,623	66,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,212	12,858
機械装置及び運搬具（純額）	17,721	19,445
土地	7,758	7,807
建設仮勘定	3,251	3,654
その他（純額）	1,259	1,473
有形固定資産合計	42,204	45,239
無形固定資産		
のれん	58	50
その他	341	366
無形固定資産合計	400	417
投資その他の資産		
投資有価証券	2,975	3,056
退職給付に係る資産	1,221	1,235
その他	2,433	2,454
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,602	6,717
固定資産合計	49,206	52,374
繰延資産		
社債発行費	35	29
繰延資産合計	35	29
資産合計	104,865	118,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,506	11,798
電子記録債務	2,458	2,153
短期借入金	14,328	23,510
1年内償還予定の社債	42	342
未払法人税等	356	317
賞与引当金	748	565
災害損失引当金	46	—
その他	3,148	3,501
流動負債合計	33,637	42,190
固定負債		
社債	3,608	3,287
長期借入金	11,824	12,111
退職給付に係る負債	117	143
資産除去債務	454	453
その他	755	814
固定負債合計	16,761	16,809
負債合計	50,398	58,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,310
資本剰余金	16,962	16,966
利益剰余金	13,411	13,651
自己株式	△3,135	△3,135
株主資本合計	49,543	49,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	1,019
為替換算調整勘定	1,977	6,818
退職給付に係る調整累計額	235	206
その他の包括利益累計額合計	3,172	8,045
非支配株主持分	1,750	2,006
純資産合計	54,466	59,842
負債純資産合計	104,865	118,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	38,677	40,988
売上原価	33,850	34,762
売上総利益	4,826	6,226
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,792	1,947
賞与引当金繰入額	13	△44
退職給付費用	15	12
貸倒引当金繰入額	△81	△0
その他	2,687	3,064
販売費及び一般管理費合計	4,427	4,980
営業利益	399	1,245
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	45	70
為替差益	—	394
その他	169	135
営業外収益合計	219	606
営業外費用		
支払利息	101	125
支払手数料	48	117
為替差損	206	—
その他	154	55
営業外費用合計	511	298
経常利益	107	1,552
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	244	—
特別利益合計	244	0
特別損失		
固定資産除却損	53	94
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	53	94
税金等調整前四半期純利益	298	1,458
法人税等	211	305
四半期純利益	86	1,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	13	1,068

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	86	1,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	60
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,869	5,074
退職給付に係る調整額	△27	△28
その他の包括利益合計	1,999	5,106
四半期包括利益	2,086	6,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,738	5,941
非支配株主に係る四半期包括利益	347	317

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298	1,458
減価償却費	2,071	2,325
受取利息及び受取配当金	△50	△75
支払利息	101	125
為替差損益(△は益)	532	△175
固定資産売却損益(△は益)	△0	0
固定資産除却損	53	94
売上債権の増減額(△は増加)	1,643	2,432
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,118	△2,061
仕入債務の増減額(△は減少)	102	△2,595
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	△182
その他	256	38
小計	2,900	1,383
利息及び配当金の受取額	50	77
利息の支払額	△105	△135
法人税等の支払額	△35	△365
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,809	959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,575	△2,516
有形固定資産の売却による収入	266	0
無形固定資産の取得による支出	△19	△12
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
貸付金の回収による収入	0	—
その他	65	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,268	△2,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,334	15,990
短期借入金の返済による支出	△3,334	△16,212
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△752	△643
社債の償還による支出	△51	△21
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△98	△25
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の 取得による支出	△1,858	—
配当金の支払額	△0	△827
非支配株主への配当金の支払額	△40	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,800	8,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	317	1,347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,942	7,905
現金及び現金同等物の期首残高	17,466	15,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,524	23,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	22,975	7,289	6,401	2,011	38,677	—	38,677
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,975	7,289	6,401	2,011	38,677	—	38,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	462	6,636	5,186	3	12,289	△12,289	—
計	23,437	13,925	11,588	2,014	50,966	△12,289	38,677
セグメント利益 又は損失(△)	820	△129	48	87	827	△428	399

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△428百万円には、セグメント間取引消去165百万円、全社費用△593百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	23,012	9,068	6,930	1,976	40,988	—	40,988
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,012	9,068	6,930	1,976	40,988	—	40,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	545	7,671	7,480	—	15,698	△15,698	—
計	23,558	16,740	14,411	1,976	56,687	△15,698	40,988
セグメント利益	319	782	805	87	1,994	△749	1,245

(注) 1. セグメント利益の調整額△749百万円には、セグメント間取引消去△150百万円、全社費用△598百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。